



全日本室内選手権決勝、金剛東京 対 チームフジ

シクリスムエコー No.155 2008年12月・2009年1月合併号



新年のご挨拶 2



2008年を振り返って・2009年の目標 2



'08-09UCIトラック・ワールドカップ・クラシクス# 2・3・ 3

第14回全日本シクロクロス選手権大会 4



第39回全日本室内自転車競技選手権大会 6



競技大会結果 8

シクロクロス・ナショナルセレクションシリーズ最終結果 9

2008年度地区プロ選手権大会結果 9

各大会日本代表選手団 12

連盟の動き 12



この広報誌は、「競輪公益資金」の補助を受けました。

<http://keirin.jp>

<http://ringring-keirin.jp>



新年のご挨拶



財団法人 日本自転車競技連盟
会長 岩楯 昭一

S. Iwano

平成21年の幕開けにあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。平素は本連盟の諸事業にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は過去最高204の国と地域が参加した北京オリンピックが開催されました。自転車競技は、トラック8名、ロード3名、マウンテンバイク2名、BMX1名の計14名の選手が出場し、日本で生まれたケイリンで永井清史選手が、見事に初の銅メダルを獲得した快挙の年でありました。また、北京パラリンピックにおいても素晴らしい成績を残しました。

これもひとえに関係各位のご支援、ご協力の賜物と深く感謝いたしております。また、多くの皆様から暖かいご声援をいただき、心より御礼申し上げます。

本連盟は、今年2012年のロンドンオリンピックでのさらに多くのメダル獲得に向けて、フレデリック・マニエ氏（JCFナショナルディレクター）を中心に関係者一同が精力を傾けて臨む所存であります。どうか皆様方の倍旧のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、自転車競技の普及発展並びに皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



財団法人 日本自転車競技連盟
ナショナル・ディレクター
フレデリック・マニエ

Frederic Manie

2008年を振り返って

2008年は何と言っても北京オリンピックへの準備に明け暮れた1年でした。オリンピックへの出場を叶えるまでの道りは簡単なものではなく、選手にとってもスタッフにとっても困難なものでした。

しかし最終的には素晴らしいことに永井選手がメダルを獲得し、ケイリンという種目が日本中で注目を浴びることが出来ました。永井選手は全ての面において極めて優れた潜在能力を示して来ました。彼は年間を通じ多くの犠牲を払わなければなりませんでした。その努力は銅メダルという形で報われました。オリンピック自転車チームのスターが永井選手であったことには間違いありませんが、チームのメンバー全員に感謝したいと思っています。メンバーは全員日本チームの代表としての勤めを果たし、オリンピックの期間中に素晴らしいスピリットを見せてくれました。彼ら全員がメダルを獲得したわけではありませんが、オリンピックへ出場するという競技人生の中でも特別な瞬間に、全員が全力を尽くすことが出来たと思います。

また、大変な1年を過ごしたスタッフ全員に感謝し、彼らをとっても誇りに思っていると伝えたいです。オリンピックに関わった者の全てが、永井選手のメダルを分かち合うべきだと思います。

ロンドンでの成功へ向けた2009年の目標

北京オリンピックはすでに過去の出来事であり、今後はロンドンオリンピックという未来に向かって進んで行かなければなりません。ナショナルチームの選手の中にも、2012年のロンドンオリンピックまで競技を続ける選手も居れば、そうでない選手も居るでしょう。今はロンドンで最良の結果を取めるための、最良の方法を熟慮すべき時期です。2009年はその移行期と言えるでしょう。新しい選手達を試す時期であり、新しくナショナルチームへ参加した若い世代の選手達を見守る時期です。それでもなお、2009年にいくつかの素晴らしい成績が残せることを期待しています。

2009年は「ベイビー・ロンドン世代」を育成する時期です。

引き続きナショナルチームのために全力を尽くし、日本の自転車競技の優れたイメージを世界中に広めることが出来ればと願っています。

'08-09 UCIトラック・ワールドカップ・クラシクス#2・3

第2戦でチームスプリント銀メダルを獲得

UCIトラックワールドカップは、第1戦イギリス・マンチェスター大会に続き、第2戦がオーストラリア・メルボルンで11月20日から22日、第3戦がコロンビア・カリで12月11日から13日に開催された。

第2戦のチームスプリントでは、2006年のアジア大会で金メダルを獲得した「成田・渡邊・新田」チームが出場し、予選を45秒258で2位通過。決勝ではオーストラリアのTEAM TOSHIBAと対戦し45秒479で敗れたものの銀メダルを獲得した。実にワールドカップこの種目、2年8ヶ月ぶりの表彰台に立ち、この時点でワールドカップの種目別1位となり、ワールドカップの栄えあるリーダーシップが与えられた。

また第3戦は大学生を中心に参戦したが、やはり苦戦を強いられた。



【競技結果】

'08-09UCIトラック・ワールドカップ クラシクス#2 (2008/11/20-22 オーストラリア・メルボルン)

男子スプリント

- 1 PERKINS Shane AUS
- 2 D'ALMEIDA Michaël FRA
- 3 NIBLETT Jason TOS
- 7 渡邊 一成 JPCA 福島
- 19 成田 和也 JPCA 福島

男子1kmタイムトライアル

- 1 D'ALMEIDA Michaël FRA 1:02.238
- 2 SUNDERLAND Scott TOS 1:02.492
- 3 LI Wen Hao CHN 1:03.189
- 10 新田 祐大 JPCA 福島 1:03.972

男子ケリソ

- 1 AWANG Azizulhasni MAS
- 2 VYNOKUROV Andriy UKR
- 3 PERVIS François COF
- 5 渡邊 一成 JPCA 福島

男子スクラッチ (15km)

- 1 KWOK Ho Ting HKP

- 2 OWARD Leigh TOS -1lap
- 3 CHRISTIE Jason NZL -1lap
- 8 盛 一大 愛知 愛三工業 -1lap

男子ポイントレース (30km)

- 1 O'SHEA Glenn TOS 59p
- 2 SEO Joon Yong KOR 59p
- 3 TERUEL ROVIRA Eloy ESP 56p
- 5 盛 一大 愛知 愛三工業 33p

男子チームスプリント

- 1 TEAM TOSHIBA 44.744
- 2 日本 成田・新田・渡邊 45.479
- 3 UKRAINE 45.687

'08-09UCIトラック・ワールドカップ クラシクス#3 (2008/12/11-13 コロンビア・カリ)

男子スプリント

- 1 SIREAU Kévin COF
- 2 NIMKE Stefan GER
- 3 BOURGAIN Mickaël COF
- 27 石口 慶多 兵庫 立命館大学
- 31 石倉 龍二 和歌山 日本大学

男子1kmタイムトライアル

- 1 NIMKE Stefan GER 1:01.590
- 2 BOLIBRUKH Yevhen UKR 1:01.934
- 3 LI Wenhao CHN 1:03.023
- 15 我妻 敏 福島 日本大 1:08.199

男子ケリソ

- 1 NARVAEZ ROMERO Leonardo COL
- 2 NIBLETT Jason TOS
- 3 FORDE Barry BAR
- 15 石倉 龍二 和歌山 日本大学 1回戦敗退

男子スクラッチ (15km)

- 1 BELL Zachary CAN
- 2 MERTENS Tim BEL
- 3 TORRENT TARRES Carlos ESP
- 18 柴田 一樹 神奈川 朝日大学 -1lap

男子ポイントレース

- 1 DUQUE Leonardo COF 61p
- 2 KENNAUGH Peter GBR 56p
- 3 TORRENT TARRES Carlos ESP 53p
- 柴田 一樹 神奈川 朝日大学 予選敗退



Dream Skyward.

JAL

ご予約・お問い合わせ

www.jal.co.jp

国内線 ☎ 0120-25-5971
(営業時間 6:30~22:00/年中無休)

国際線 ☎ 0120-25-5931
(営業時間 8:00~21:00/年中無休)

第14回全日本シクロクロス選手権大会

男子は辻浦、女子は豊岡が連覇



全日本シクロクロス男子スタート



障害物ゾーンを行く辻浦



男子1周目の先頭集団



女子1周目の先頭集団

12月14日長野・飯田市川路において、第14回全日本シクロクロス選手権がシクロクロスミーティング第5戦天竜峡大会と併催で行われた。

底冷えする雨模様であったが、女子スタートの頃には雨も上がり、全日本としては寂しい7名がスタートしていった。結果、4連覇のかかる豊岡(大阪・ayakotoyooka.com)が志村(埼玉・ラブニールあづみの)に44秒の差をつけ、見事本年度の女子チャンピオンとなった。

また、男子は山本幸平(北海道・ブリヂストン)が欠場のため、辻浦(奈良・ブリヂストン)対長野勢の戦いとなり、大方の予想通り辻浦が7連覇を達成した。なお、U23クラスでは総合4位の竹ノ内(京都・TREK)が優勝した。

【競技結果】

第14回全日本シクロクロス選手権大会 (2008/12/14 長野・飯田)

男子U-23(27.88km)

- 1 辻浦 圭一 奈良 ブリヂストン 1:06:14
- 2 小坂 正則 長野 スワレーシング* +1:02
- 3 山本 聖吾 長野 快レーシング* +1:14



- 4 竹ノ内 悠 京都 TREK +1:25
- 5 小坂 光 長野 スワレーシングチーム +2:48
- 6 丸山 厚 長野 スワレーシングチーム +3:17
- 7 中山 和也 長野 スワレーシングチーム +4:33
- 8 小森 亮平 広島 ダイハツホンダモーター +5:03
- 9 池本 真也 神奈川 和光機器 +5:41
- 10 入江 克典 大阪 シマノドリンクング* +6:02

女子U-23(15.38km)

- 1 豊岡 英子 大阪 ayakotoyooka 44:15
- 2 志村みち子 埼玉 ラブニールあづみの +0:44
- 3 酒井 真清 大阪 テスタッチレーシング* +2:24



- 4 田近 郁美 岐阜 GOD HILL +5:27
- 5 中村由香里 大阪 カカワAS +6:52
- 6 岩田 知夏 京都 北桑田高校 +8:33
- 7 武田 和圭 埼玉 ARAI-MURACA +8:55



男子単独ゴールの辻浦



女子単独ゴールの豊岡



シャンパンシャワーを楽しむ辻浦



サイクルサッカー決勝の金剛東京とチームフジ

第39回全日本室内自転車競技選手権大会

第39回全日本室内自転車競技選手権大会が11月23日(日)・24日(月)の両日、東京工業大学体育館にて開催された。

サイクルサッカーは10月の世界選手権にて、日本の史上初グループA勝利をもたらした金剛東京(木下・松田)を中心とした優勝争いが注目された。大会第1日の本戦トーナメントにて6組、敗者復活戦トーナメントにて2組の計8組が翌日の決勝ラウンドに進むが、U-28世代のチャンピオンである蔵前(藤田・時倉)が本戦、敗者復活戦ともに敗れ、姿を消した。

決勝ラウンド進出チームには経験に勝るベテラン勢が顔を揃え、中でもケルビム100(都築・有川)は2名の年齢合計100歳。初戦でキャリア2年目の関西大(村上・合田)を、接戦の末に下してのベスト8進出。敗者復活戦ではインカレ覇者の大阪大(三須・田中)が、前年4位のダンデライオン(安田・前田)をPK戦にて破り、大学生ペアとしては4年ぶりのベスト8入りを果たした。

大会2日目の決勝ラウンドはA・B4組ずつのグループリーグを戦い、上位2組が準決勝に進む。Aグループの

金剛東京とピンキーズ大阪(山本・宮本)の一戦は緊迫した好試合となり、金剛東京は先行を許すも辛くも追いつき2:2のドロー。だがピンキーズはその後のチームフジ(森・黒田)戦を落とし、グループ3位となり準決勝進出を逃した。Bグループは日本代表CCKサンディーズK(手島・現王園)が大阪大に引き分けたものの、貫禄の1位通過。ケルビムはアシックス(武川・蓑原)を残り1分から逆転、2位通過を決めた。

決勝戦は準決勝で、サンディーズを破ったチームフジと金剛東京の関東勢対決となった。金剛東京は確実に得点を重ね、リードを保つ展開で試合を進めた。双方この日5試合目となったことも影響し、スタミナにも勝る金剛東京のプレーは安定しており、スコア6:2で全日本選手権2連覇を果たした。今回入賞の8組で20代選手は、7位舞馬の芦塚と8位大阪大のみ。若手選手の来年以降の奮起を期待するとともに、強化育成への取り組みが急務である。

サイクルフィギュアは採点ルール変更(演技時間が6分から5分に変更)後、初の日本選手権となった。芦田史朗(ラフォーレ琵琶湖)111.20ptsと

堀井和美(京滋ブルーレイクエンジェル)71.90ptsは、それぞれ自身が持つ日本最高得点を更新する演技を披露、連覇記録を更新した。今後の国内レベルの向上には、男子では今年世界選手権初代表となった芝山耕輔(東京輪球会26歳)、女子では佐藤風沙(京滋ブルーレイクエンジェル14歳)といった若手選手の躍進が不可欠であろう。(宮川 廣平)

【競技結果】

第39回全日本室内自転車競技選手権大会(2008/11/23-24 東京・東京工業大学)

サイクルサッカー

- 1 木下直也・松田 銅 金剛東京
- 2 黒田 岳・森 茂史 チームフジ
- 3 現王園仁志・手島敏光 C・C・K・サンディーズK
- 4 有川和英・都築勝巳 ケルビム100
- 5 宮本武彦・山本勝敏 ピンキーズ大阪
- 6 武川 健・蓑原征也 ASICS
- 7 大野和俊・芦塚正博 舞馬
- 8 田中勝也・三須友晶 大阪大学

サイクルフィギュア男子シングル

- 1 芦田 史朗 ラフォーレ琵琶湖 111.20(日本新)
- 2 芝山 耕輔 東京輪球会 39.74
- 3 縄田 末雄 バイナルフィギュア707宇部 7.02

サイクルフィギュア女子シングル

- 1 堀井 和美 京滋ブルーレイクエンジェル 71.90(日本新)
- 2 佐藤 風沙 京滋ブルーレイクエンジェル 44.78



サイクルサッカー決勝の金剛東京とチームフジ



サイクルフィギュア女子優勝の堀井



サイクルサッカー優勝の金剛東京と4位のケルビム100



サイクルフィギュア男子優勝の芦田



サイクルサッカー3位のC・C・K・サンディーズKと2位のチームフジ

競技大会 結果

大会名、チーム名等については略して記載

'08-09 UCIシクロクロス・ワールドカップ 第3戦 (2008/11/9 オランダ・Pijnacker)

女子エリート

- 1 KUPFERNAGEL Hanka GER 36:21
- 2 COMPTON Katherine USA +0:08
- 3 NASH Katerina CZE +0:28
- 26 萩島 美香 JPN +5:51

シクロクロス・ナショナルレクシオン・シリーズ #3 (2008/11/16 長野・霧が峰高原)

エリート男子

- 1 小坂 正則 長野 スコロージング 1:01:00
- 2 丸山 厚 長野 スコロージング 1:02:31
- 3 山本 聖吾 長野 快レージング 1:02:33
- 4 池本 真也 神奈川 和光機器 -1lap
- 5 中間森太郎 埼玉 Taem Ridley jp-1lap
- 6 松井 正史 京都 シノト・リンク 1:04:42
- 7 澤田 雄一 長野 チーム サイクルマインド -1lap
- 8 佐々木文吾 大阪 シノト・リンク 1:04:42
- 9 小林 義典 東京 Testach-R. -1lap
- 10 浜 久之 長野 スコロージング チーム -1lap

U23

- 1 小坂 光 長野 スコロージング 1:04:34
- 2 中山 和也 長野 スコロージング 1:05:15
- 3 伊澤 優大 滋賀 Bee Club 1:09:07
- 4 小森 亮平 広島 ダイハツホンダ 1:09:07
- 5 平野 星矢 新潟 国際アウトドア学校 -1lap
- 6 松井 響 京都 立命館大学 -1lap
- 7 武田 耕大 埼玉 Arai・Muraca -1lap

エリート女子

- 1 豊岡 英子 大阪 ayakotoyooka 38:31
- 2 志村みち子 埼玉 イキップあづみの 41:20
- 3 中村由香里 大阪 カガワA.S. 47:10
- 4 中島 織七 長野 スコロージング チーム -1lap

シクロクロス・ナショナルレクシオン・シリーズ #4 (UCI C2) (2008/11/23 滋賀・びわこマヒメ)

エリート男子

- 1 辻浦 圭一 奈良 ブリヂーストンアンカー 59:28
- 2 Barry Wicks USA kona 59:54
- 3 小坂 正則 長野 スコロージング 1:00:43
- 4 Adam McGrath USA kona 1:01:41
- 5 丸山 厚 長野 スコロージング 1:02:04
- 6 入江 克典 大阪 シノト・リンク 1:04:42
- 7 池本 真也 神奈川 和光機器 1:04:45
- 8 三船 雅彦 JPCA MATRIX 1:05:08
- 9 Reid Darren AUS O-TRICK 1:05:13
- 10 山本 聖吾 長野 快レージング 1:05:34

U23

- 1 竹之内 悠 京都 TREK 1:02:26
- 2 中山 和也 長野 スコロージング 1:04:13

- 3 小坂 光 長野 スコロージング 1:05:35
- 4 伊澤 優大 滋賀 Bee Club 1:08:58

U17女子

- 1 豊岡 英子 大阪 ayakotoyooka 36:42
- 2 志村みち子 埼玉 イキップあづみの 40:00
- 3 中村由香里 大阪 カガワA.S. 42:03
- 4 酒井 真清 大阪 Testach R. 43:47
- 5 福本 千佳 大阪 クラブ・シルベスト 44:39
- 6 岩田 知夏 京都 クラブ・シルベスト 45:57
- 7 伊坂 和花 兵庫 山の駅 48:01
- 8 武田 和佳 埼玉 Arai・Muraca -1lap
- 9 上田 順子 大阪 クラブ・シルベスト -1lap
- 10 三井 由香 兵庫 ハートスタパール -1lap

スピード・ツールド・インドネシア2008 (UCI 2.2) (2008/11/23-12/5 インドネシア)

個人総合成績 (1678.4 km)

- 1 GHADER MIZBANI IRANAGH TPT 42:08:09
- 2 AMIR ZARGARI TPT 42:09:49
- 3 HOSSEIN JAHANBANIAN TPT 42:11:18
- 9 伊藤 雅和 鹿児島 鹿屋体育大 42:16:25
- 26 越海 誠一 大分 日本大学 42:31:04
- 43 内間 康平 沖縄 鹿屋体育大 42:48:39

団体総合成績

- 1 Tabriz Petrochemical Team 126:28:34
- 2 Customs Cycling Club 126:53:08
- 3 Jazy Sports Beacon Philippines 127:04:14
- 8 Japan National Team 127:36:39



第1ステージ (80km)

11月23日 Jakarta Criterium

- 1 ARTEMY TIMOFEEV PSN 1:53:18
- 2 BRAD HALL TCL 1:53:18
- 3 PARNO CCC 1:53:18
- 11 越海 誠一 大分 日本大学 1:53:18
- 36 内間 康平 沖縄 鹿屋体育大 1:53:18
- 54 伊藤 雅和 鹿児島 鹿屋体育大 1:53:18
- 65 野中 竜馬 広島 鹿屋体育大 1:53:18
- 83 吉田 隼人 奈良 鹿屋体育大 1:53:18

第2ステージ (133.2km)

11月24日 Bandung - Cirebon

- 1 BRAD HALL TCL 3:07:00
- 2 ARNEL QUIRIMIT JSB 3:07:00
- 3 MERCULIO RAMOS JSB 3:07:00
- 24 越海 誠一 大分 日本大学 3:07:13
- 54 野中 竜馬 広島 鹿屋体育大 3:07:13
- 67 伊藤 雅和 鹿児島 鹿屋体育大 3:07:13
- 72 内間 康平 沖縄 鹿屋体育大 3:07:13
- 76 吉田 隼人 奈良 鹿屋体育大 3:07:13

第3ステージ (187.7km)

11月25日 Cirebon - Purwokerto

- 1 HOSSAIN JAHANBANIAN TPT 4:56:58
- 2 AMIR ZARGARI TPT 4:57:11

- 3 PARNO CCC 4:57:11
- 6 伊藤 雅和 鹿児島 鹿屋体育大 4:57:11
- 62 内間 康平 沖縄 鹿屋体育大 5:09:01
- 66 越海 誠一 大分 日本大学 5:09:01
- 79 野中 竜馬 広島 鹿屋体育大 5:55:48
- 吉田 隼人 奈良 鹿屋体育大 DNF

第4ステージ (211km)

11月26日 Purwokerto - Semarang

- 1 伊藤 雅和 鹿児島 鹿屋体育大 5:30:34
- 2 MOHD NOR RIZUAN ZAINAL MAS 5:30:38
- 3 FATAHILLAH ABDULLAH BKG 5:30:38



- 11 越海 誠一 大分 日本大学 5:30:38
- 12 内間 康平 沖縄 鹿屋体育大 5:30:38
- 野中 竜馬 広島 鹿屋体育大 DNF

第5ステージ (143.8km)

11月27日 Semarang - Jogjakarta

- 1 GHADER MIZBANI IRANAGH TPT 4:01:45
- 2 MEHDI FARIDI TPT 4:01:55
- 3 AMIR ZARGARI TPT 4:01:57
- 21 越海 誠一 大分 日本大学 4:08:47
- 22 伊藤 雅和 鹿児島 鹿屋体育大 4:08:47
- 51 内間 康平 沖縄 鹿屋体育大 4:20:21

第6ステージ (170.9km)

11月29日 Jogjakarta - Madiun

- 1 WIM SPIJKERBOER KUL 3:50:07
- 2 NUNUNG BURHANUDIN JBR 3:50:12
- 3 ROBIN MANULANG KKT 3:50:12
- 27 内間 康平 沖縄 鹿屋体育大 3:51:05
- 36 越海 誠一 大分 日本大学 3:51:05
- 57 伊藤 雅和 鹿児島 鹿屋体育大 3:51:05

第7ステージ (159.2km)

11月30日 Madiun - Surabaya

- 1 SHERWIN CARRERA JSB 3:46:07
- 2 SUHARDI HASSAN KUL 3:46:07
- 3 WAN MOHD NAJMEE WAN MOHD KUL 3:46:07
- 6 越海 誠一 大分 日本大学 3:46:11
- 10 内間 康平 沖縄 鹿屋体育大 3:46:19
- 44 伊藤 雅和 鹿児島 鹿屋体育大 3:46:19

第8ステージ (60km)

12月1日 Surabaya Criterium

- 1 MOHD NOR RIZUAN ZAINAL MAS 1:20:48
- 2 伊藤 雅和 鹿児島 鹿屋体育大 1:20:49
- 3 EDMUND HOLLANDS TCL 1:20:51
- 24 越海 誠一 大分 日本大学 1:20:51
- 25 内間 康平 沖縄 鹿屋体育大 1:20:51

第9ステージ (182.8km)

12月2日 Probolinggo - Banyuwangi

- 1 伊藤 雅和 鹿児島 鹿屋体育大 4:34:49
- 2 ANUAR MANAN MAS 4:34:51
- 3 WAN MOHD NAJMEE WAN MOHD KUL 4:34:51
- 34 内間 康平 沖縄 鹿屋体育大 4:34:51
- 39 越海 誠一 大分 日本大学 4:34:51

第10ステージ (163km)

12月3日 Gilimanuk - Candidasa

1	GHADER MIZBANI IRANAGH TPT	4:17:55
2	TONTON SUSANTO DPG	4:18:01
3	伊藤 雅和 鹿児島 鹿屋体育大	4:19:29
22	越海 誠一 大分 日本大学	4:22:10
44	内間 康平 沖縄 鹿屋体育大	4:27:40

第11ステージ (109.4km)

12月4日 Candidasa - Denpasar Renon

1	MOHD NOR RIZUAN ZAINAL MAS	2:52:14
2	RYAN ARIEHAN DPG	2:52:16
3	NUNUNG BURHANUDIN JBR	2:53:45
12	内間 康平 沖縄 鹿屋体育大	2:54:46
37	越海 誠一 大分 日本大学	2:54:46
41	伊藤 雅和 鹿児島 鹿屋体育大	2:54:46

第12ステージ (77.4km)

12月5日 Kuta Criterium

1	AHMAD FALANIE ALI KUL	1:52:12
2	WAN MOHD NAJMEE WAN MOHD KUL	1:52:13
3	SHERWIN CARRERA JSB	1:52:13
4	越海 誠一 大分 日本大学	1:52:13
10	内間 康平 沖縄 鹿屋体育大	1:52:36
54	伊藤 雅和 鹿児島 鹿屋体育大	1:52:36

'08-09UCシクロクロス・ワールド・カップ 第4戦
(2008/11/29 ヘルギン・Koksijde)

女子リト

1	COMPTON Katherine USA	40:09
2	KUPFERNAGEL Hanka GER	+0:01
3	VAN DEN BRAND Daphny NED	+0:18
24	荻島 美香 JPN	+5:42

シクロクロス・ナショナルレクジョンスリズ #5
(2008/12/7 静岡・朝霧高原)

リト男子

1	辻浦 圭一 奈良 プリヂェンストーンアンカー	56:51
2	小坂 正則 長野 スワコレーシングチーム	56:53
3	丸山 厚 長野 スワコレーシングチーム	56:58
4	山本 聖吾 長野 快レーシング	57:39
5	山本 和弘 北海道 キャノンテール	58:57
6	池本 真也 神奈川 和光機器	1:01:18
7	大塚 潤 静岡 ClubViento	1:01:37
8	菊地 健一 神奈川 JMSbyAMB	1:02:30
9	澤田 雄一 長野 チーム サイクルマインド	-1lap
10	飯塚 隆文 長野 スワコレーシングチーム	-1lap

U23男子

1	小坂 光 長野 スワコレーシングチーム	59:44
2	平野 星矢 新潟 アウトドア学校	1:00:27
3	中山 和也 長野 スワコレーシング	1:01:12
4	小森 亮平 広島 ダイワボウ・シヤンス	1:01:33
5	武田 耕大 埼玉 Arai・Muraca	-1lap

リト女子

1	志村みち子 埼玉 イキップ あづみの	46:20
2	武田 和佳 埼玉 Arai・Muraca	-1lap
3	中島 織七 長野 スワコレーシングチーム	-1lap



<シクロクロス・ナショナルレクジョンスリズ 最終結果>

男子リト

1 辻浦 圭一 チームプリヂェンストーンアンカー 240



2	小坂 正則 スワコレーシングチーム	205
3	丸山 厚 スワコレーシングチーム	170
4	松井 正史 シムノドリ・リンク	103
5	山本 聖吾 快レーシング	98
6	池本 真也 和光機器 タムラクラブ	98
7	入江 克典 シムノドリ・リンク	38
8	Barry Wicks kona (選考外)	30
9	猪又 靖 クラブシルバースト	30
10	中間森太郎 Team Ridley jp	30
11	山田 夏樹 GAS PANIC SP	25
12	大原 満 Aisan SABOKURA	20
13	Adam McGrath kona (選考外)	20
14	藤岡 拓 FDA MIYASEI	20
15	山本 和弘 キャノンテール・ディアトラ	15
16	尾崎 義規 チームよしー	15
17	澤田 雄一 チーム サイクルマインド	15
18	大塚 潤 CLUB Viento	10
19	菊地 健一 JMS by AMB・ツイン	8
20	三船 雅彦 MATRIX-POWERTAG	8
21	佐々木文吾 シムノドリ・リンク	8
22	伊藤 翔吾 bicinoko.com	5
23	Reid Darren O-TrickRidleybike(選考外)	5
24	小林 義典 Testach-Racing	5
25	飯塚 隆文 スワコレーシングチーム	3
26	浜 久之 スワコレーシングチーム	3

女子リト

1	豊岡 英子 Team ayako toyooka	300
2	志村みち子 イキップ あづみの	210
3	中村由香里 ナカガワ・A.S.K.テ・ザイン	100
4	酒井 真清 Testach Racing	95
5	武田 和佳 ARAI・MURACA	58
6	田近 郁美 GOD HILL	55
7	中島 織七 スワコレーシングチーム	45
8	岩田 知夏 クラブシルバースト	38
9	三井 由香 ハートスタール スキノ	18
10	福本 千佳 クラブシルバースト	15
11	伊坂 和花 山の駅COWBOY	10
12	上田 順子 クラブシルバースト	5

U23

1	竹之内 悠 TREK	120
2	小坂 光 スワコレーシングチーム	120
3	中山 和也 スワコレーシングチーム	91
4	伊澤 優大 Bee Club R.T	52
5	小森 亮平 ダイワボウ・シヤンス飯田	44
6	平野 星矢 国際アウトドア専門学校	40
7	松井 響 立命館大学	23
8	武田 耕大 ARAI・MURACA	23
9	早水 直樹 ナカガワ・A.S.K.テ・ザイン	10
10	合田 啓祐 Team Cluez	5

—2008年度地区プロ選手権大会—

第35回北日本地区プロ選手権大会

(2008/10/15 福島・いわき平競輪場 400m)

スプリント

1	成田 和也 福島
2	鈴木謙太郎 福島
3	菅田 和宏 宮城

1kmタイムトライアル

1	新田 祐大 福島	1:04.665
2	坂本 貴史 青森	1:04.837
3	大森 慶一 北海道	1:05.716

ケリ

1	金成 和幸 福島
2	伊藤 大志 青森
3	平沼 由充 福島

4km個人追抜競走

1	佐藤 悦夫 福島	5:04.84
2	小松 剛之 宮城	5:07.71
3	佐藤 佑一 岩手	5:09.35

ポイントレース

1	竹山 陵太 宮城	35p
2	佐藤 友和 岩手	32p
3	佐藤 朋也 秋田	26p

チームスプリント

1	青森 及川・五田市・高橋	1:16.74
2	福島 伏見・佐藤・新田	1:17.66
3	北海道 菊地・森田・大森	1:18.38

4km団体追抜競走

1	宮城 高浜・関戸・菅田・竹山	4:36.71
2	福島 佐藤・青森・榊枝・金澤	4:39.08
3	青森 佐々木・坂本・佐藤・佐藤	4:40.07

第35回関東地区プロ選手権大会

(2008/11/5 群馬・前橋競輪場 335m)

スプリント

1	天田 裕輝 群馬
2	坂本 英一 栃木
3	屋良 朝春 東京

1kmタイムトライアル

1	松田 優一 茨城	1:05.535
2	矢口啓一郎 群馬	1:05.936
3	神山 拓弥 栃木	1:06.769

ケリ

1	金子 真也 群馬
2	小林 大介 群馬
3	諸橋 愛 新潟

4km個人追抜競走

1	飯島 規之 埼玉	4:50.80
2	伊藤 太一 山梨	4:54.74
3	齋藤 昌太 栃木	5:00.91

ポイントレース

1	小林 潤二 群馬	39p
2	塚本 和宏 栃木	32p
3	田村 武士 新潟	27p

チームスプリント

1	群馬 稲村・矢口・木暮	1:02.55
2	栃木 松岡・中嶋・矢野	1:03.45
3	東京 横田・柴田・市川	1:03.99

4km団体追抜競走

1	群馬 田中・手島・石川・篠原	4:32.38
---	----------------	---------

- 2 栃木 神山・飯嶋・菊池・阿久津 4:33.11
3 茨城 落合・十文字・河野・山崎 4:42.92

第35回南関東地区プロ選手権大会
(2008/10/15 神奈川・川崎競輪場 400m)

スプリント

- 1 川村 哲也 静岡
2 山賀 雅仁 千葉
3 齋藤 友幸 静岡

1kmタイムトライアル

- 1 田中 晴基 千葉 1:07.068
2 山本 健也 千葉 1:07.484
3 藤田 大輔 千葉 1:07.628

ケリッ

- 1 海老根恵太 千葉
2 桐山敬太郎 神奈川
3 高木 隆弘 神奈川

4km個人追抜競走

- 1 近藤 隆司 千葉 5:01.930
2 深澤 伸介 静岡 5:05.300
3 原田 和明 千葉 5:10.280

ポイントレース

- 1 岡村 潤 静岡 19p
2 斯波 雅貴 静岡 10p
3 海野 敦男 静岡 10p

チームスプリント

- 1 静岡 渡邊・新田・萩原 1:16.26
2 神奈川 吉川・五十嵐・福田 1:17.20
3 千葉 中村・伊勢崎・武井 1:17.28

4km団体追抜競走

- 1 神奈川 遠澤・加藤・野村・畠山 4:40.87
2 静岡 山崎・松江・村本・片寄 4:44.80
3 千葉 宮倉・篠田・中曾・岡本 4:58.54

第36回中部地区プロ選手権大会
(2008/10/15 富山・富山競輪場 333m)

スプリント

- 1 金子 貴志 愛知
2 北野 武史 石川
3 柴崎 淳 三重

1kmタイムトライアル

- 1 外山 三平 愛知 1:07.467
2 谷田 泰平 岐阜 1:08.138
3 竹田 和幸 岐阜 1:08.197

ケリッ

- 1 吉田 敏洋 愛知
2 山田 裕仁 岐阜
3 山口 富生 岐阜

4km個人追抜競走

- 1 山田 晃久 石川 5:09.02
2 白井 一機 愛知 5:09.48
3 日比野敏行 岐阜 5:12.05

ポイントレース

- 1 鱒淵 正利 愛知 21p
2 倉野隆太郎 愛知 16p
3 舩井 幹雄 三重 16p

チームスプリント

- 1 三重 浅井・柴崎・柴崎 1:02.022
2 岐阜 加藤・山口・永井 1:03.774
3 富山 松崎・宮越・竹澤 1:05.370

4km団体追抜競走

- 1 富山 坂上^忠・岩本・坂上^樹・辻 4:34.72
2 三重 上田^裕・上田^国・松岡・坂元 4:47.70
3 岐阜 吉田・柴田・不破・児玉 4:47.83

第31回近畿地区プロ選手権大会
(2008/10/3 奈良・奈良競輪場 333m)

スプリント

- 1 松岡 健介 兵庫
2 坂本 匡洋 大阪
3 奥平 充男 京都

1kmタイムトライアル

- 1 伊原 克彦 福井 1:06.305
2 伊藤 保文 京都 1:06.502
3 松山 勝久 福井 1:06.981

ケリッ

- 1 村上 博幸 京都
2 村上 義弘 京都
3 酒井 耕介 京都

4km個人追抜競走

- 1 脇本 雄太 福井 5:00.339
2 山田 久徳 京都 5:04.422
3 武田 和也 奈良 5:05.525

ポイントレース

- 1 川村 晃司 京都 45 p
2 村田 雅一 兵庫 30 p
3 四宮 哲郎 京都 30 p

チームスプリント

- 1 福井 松山・市田・伊原 1:03.486
2 京都 稲垣・村上・西谷 1:03.538
3 兵庫 澤田・高城・筒井 1:04.247

4km団体追抜競走

- 1 京都 窓場・久米・佐野・山岸 4:34.869
2 福井 渡辺^裕・渡辺^久・久保田・鷺田 4:38.833
3 大阪 中澤・古原・木本・菊谷 4:41.970

第35回中国地区プロ選手権大会
(2008/10/23 岡山・玉野競輪場 400m)

スプリント

- 1 前反祐一郎 広島
2 石丸 寛之 岡山
3 友定 祐己 岡山

1kmタイムトライアル

- 1 三宅 達也 岡山 1:05.835
2 片岡 迪之 岡山 1:08.053
3 大川 龍二 広島 1:08.374

ケリッ

- 1 三宅 伸 岡山
2 豊田 知之 岡山
3 井上 剛 岡山

4km個人追抜競走

- 1 藤原 悠斗 岡山 5:03.16
2 中井 健二 岡山 5:09.33
3 野里 逸善 広島 5:35.11

ポイントレース

- 1 齋藤 勝 広島 84p
2 星島 太 岡山 10p
3 岩津 裕介 岡山 1p

チームスプリント

- 1 山口 内村^泰・隅・内村^竜 1:18.55
2 岡山 榊原・筒井・在本 1:18.94
3 広島 西田・吉本・隅田 1:20.62

4km団体追抜競走

- 1 岡山 近藤・丹波・新村・片山 4:40.92
2 広島 工・石田・郡・菅原 4:55.54
3 山口 村上・江本・岡崎・出見 5:18.28

第35回四国地区プロ選手権大会
(2008/10/15 徳島・小松島競輪場 400m)

スプリント

- 1 山中 貴雄 高知
2 堤 洋 徳島
3 香川 雄介 香川

1kmタイムトライアル

- 1 大西 祐 香川 1:07.385
2 大崎飛雄馬 愛媛 1:07.411
3 池田 周平 高知 1:07.551

ケリッ

- 1 渡部 哲男 愛媛
2 湊 聖二 徳島
3 小倉 竜二 徳島

4km個人追抜競走

- 1 鳥生 知八 愛媛 4:57.74
2 阿竹 智史 徳島 5:07.11
3 蓮井 祐輝 香川 5:12.00

チームスプリント

- 1 愛媛 武智・濱田・岡本 1:16.32
2 香川 池田・原・宮崎 1:16.50
3 徳島 室井・三ツ石・佐竹 1:21.15

4km団体追抜競走

- 1 愛媛 上田・宇根・和田・芳野 4:37.83
2 香川 網谷・眞鍋・大林・福島 4:39.42
3 高知 中村・池本・阿部・坂田 4:50.69

第35回九州地区プロ選手権大会
(2008/10/15 福岡・小倉競輪場 400m)

スプリント

- 1 北津留 翼 福岡A
2 荒井 崇博 佐賀
3 富永 昌久 佐賀

1kmタイムトライアル

- 1 中川誠一郎 熊本A 1:05.093
2 坂本 亮馬 福岡B 1:06.292
3 服部 克久 熊本A 1:07.349

ケリッ

- 1 原 司 佐賀
2 藤野 孝彦 佐賀
3 小野 俊之 大分

4km個人追抜競走

- 1 松岡 弘明 熊本A 4:53.056
2 森山 昌昭 福岡A 4:56.522
3 佐々木翔一 佐賀 5:01.166

リミネーション

- 1 大塚健一郎 大分
2 中塚 記生 熊本A
3 野田 源一 福岡B

チームスプリント

- 1 熊本A 合志・松本・中川 1:15.257
2 福岡B 坂本・田中・中園 1:16.241
3 佐賀 山田・山口・小林 1:17.223

4km団体追抜競走

- 1 大分 鈴木・加藤・安東・小岩 4:23.404
2 佐賀 坂本・原・一ノ瀬・豊岡 4:28.959
3 熊本A 園田・吉成・松中・中村 4:36.853

オリンピックは、地球以外で開催できない。

スポーツをする者は、誰よりもたくさん空気を吸い、水に触れ、気温を肌で感じる。考えてみれば、これほど、環境の影響を受ける人間はいないかもしれません。逆に言えば、スポーツを楽しめる環境を守ることは、地球環境を守ること。そう信じる私たちは、いま選手たちにも呼びかけ、さまざまな活動に取り組んでいます。北京オリンピックの日本代表選手団壮行会で選手全員にマイバッグを贈呈したのもそのひとつ。どんな小さなことでも、ひとつひとつ積み重ねること。そうでなければ、低炭素社会は実現できないと思うのです。みなさんも環境のためにできることを身の回りから見直してください。ご協力をお願いします。

日本代表選手団解散式後、撮影(2008.8.26) Photo: AFLOSPORT (JOC official photo team)

〈陸上〉

写真左から
朝原宣治
高平慎士
末續慎吾
塚原直貴



JOC/JAAF-006

〈競泳〉

写真左から
宮下純一
北島康介
藤井拓郎
佐藤久佳
松田丈志
中村礼子



JOC/JASF-010

〈シンクロナイズドスマイミング〉

写真左から
原田早穂
鈴木絵美子



JOC/JASF-010

〈体操〉

写真左から
坂本功貴
中瀬卓也
沖口誠
内村航平
富田洋之
鹿島文博



JOC/JGA-008

〈レスリング〉

写真左から
浜口京子
伊調千春
伊調馨
吉田沙保里
湯元健一
松永共広



JOC/JWF-018

〈自転車〉

永井清史



JOC/AJF-033

〈フェンシング〉

太田雄貴



JOC/FJE-001

〈柔道〉

写真左から
谷本歩実
上野雅恵
石井慧
内柴正人
塚田真希
中村美里



JOC/JSA-002

〈ソフトボール〉

写真上段左から
西山麗
坂井寛子
染谷美佳
乾絵美
佐藤理恵
江本奈穂
三科真澄
峰幸代

写真下段左から
藤本奈子
伊藤幸子
狩野亜由美
上野由岐子
山田恵里
馬淵智子
廣瀬芽



温暖化でスポーツを消さないで！ STOP THE 'GLOBAL WARMING' 子供たちのために、未来をとり返そう



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%



財団法人 日本オリンピック委員会
JAPANESE OLYMPIC COMMITTEE



日本だから、できる。
あたらしいオリンピック！

WARMBIZ

チーム・マイナス6%

www.team-6.jp マイナス6% と検索してください。



<p>第3回アジア BMX 選手権大会 2008 日本代表選手団</p> <p>大会名 第3回アジア BMX 選手権大会 2008 開催場所 インドネシア共和国・スラバヤ 大会期間 2008年12月19日～21日 代表選手団 監督 猪俣 健一(神奈川・JCF強化スタッフ) 選手 三瓶 将廣(神奈川・RED LINE)</p>	<p>2008-2009 UCIトラックワールドカップ第4戦 日本代表選手団</p> <p>大会名 2008-2009 UCIトラックワールドカップ第4戦 開催場所 中華人民共和国・北京 大会期間 2009年1月16日～18日 派遣期間 2009年1月13日～19日 代表選手団 監督 フレデリック・マニエ(JCFナショナルディレクター) コーチ 阿部 良二(JCF強化コーチ) メカニック 森 昭雄(JCF強化スタッフ) マッサー 柳 浩史(JCF強化スタッフ) 石田 宗男(JCF強化スタッフ) 通訳 酒見 由梨(JCF強化スタッフ) 総務 山田 克彦(JCF事務局) 選手 渡邊 一成(JPCA・福島) 成田 和也(JPCA・福島) 佐藤 友和(JPCA・岩手) 新田 祐大(JPCA・福島) 坂本 貴史(JPCA・青森) 盛 一大(愛知・愛三工業レーシング)</p>
<p>オーストラリア・ユースオリンピック・フェスティバル2009 日本代表選手団</p> <p>大会名 オーストラリア・ユースオリンピック・フェスティバル2009 開催場所 オーストラリア連邦・シドニー 大会期間 2009年1月15日～17日 直前合宿 1月8日～11日 派遣期間 2009年1月8日～18日 代表選手団 監督 福田 公生(JCF強化コーチ) コーチ 大野 直志(JCFジュニア強化育成部会支援スタッフ) メカニック 百々 敦史(JCFジュニア強化育成部会支援スタッフ) 選手 和田真久留(神奈川・横浜桜陽高校) 末木 浩二(山梨・甲府工業高校) 伊藤 裕貴(三重・朝明高校) 元砂 勇雪(奈良・榛生昇陽高校) 黒枝 士揮(大分・日出暁谷高校) 前田佳代乃(兵庫・県立西宮高校) 上野みなみ(青森・八戸工業高校)</p>	

連盟の動き (11月下旬～12月中旬)

11月 21日 ツール・ド・インドネシア2008 日本代表選手団出発	於：インドネシア 帰国→12/7
23日 平成20年度第2回広報委員会・広報部会合同会議	於：東京・日本自転車会館3号館3階
12月 2日 トラックワールドカップ第3戦直前強化合宿	於：静岡・日本CSC(～5日)
3日 平成20年度第1回アンチ・ドーピング委員会	於：東京・日本自転車会館3号館3階
平成20年度第1回審査委員会	於：東京・日本自転車会館3号館4階
平成20年度第4回常務理事会・選手強化本部会	於：東京・日本自転車会館3号館4階
平成20年度第3回競技運営委員会	於：東京・日本自転車会館3号館3階
6日 08-09年トラックワールドカップ第3戦 日本代表選手団出発	於：コロンビア・カリ 帰国→12/17
10日 平成20年度第1回ロード競技部会	於：東京・日本自転車会館3号館3階
12日 08ツアー・オブ・サウスチャイナシー 日本代表選手団出発	於：中国・香港 帰国→12/21
女子ロード強化合宿	於：沖縄(～21日)

< JCF オフィシャル・スポンサー >



< JCF オフィシャル・サプライヤー >



シクリスムエコー No.155 2008年12月・2009年1月合併号

発行/財団法人日本自転車競技連盟

発行人/岩楯昭一

編集人/加藤昭

編集事務局/財団法人日本自転車競技連盟事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-3 日本自転車会館内

TEL03-3582-3713 FAX03-5561-0508 <http://www.jcf.or.jp/>